

芝草による法面緑化工法の比較

品種名		センチピートグラス ティフ・ブレイ	セントオーガスチングラス	高麗芝	野芝
品種特性		和名はムゲシハの暖地型芝草。 アレロパシー効果により雑草を抑制が期待出来る。 土壌の適用PHは4.2～8.5と広く、また種子吹付から張芝まで幅広い施工が可能である。 葉ざわりが柔らかく、耐暑性が強いので沖縄県内の多目的広場等での施工実績が多くなってきている。(中城公園・浦添大公園・平和記念公園)	葉ざわりは硬く、地表部を被覆することにより雑草を抑制する。 耐暑性・耐塩性が強く擦切れにも強い為、沖縄県内多数の公園等で使用されている。 栄養繁殖なので、種子でのスポット補修が出来ない。	在来品種で耐暑性に優れる。 葉は緻密で景観性に優れる。 栄養繁殖なので、種子でのスポット補修が出来ない。	日本の在来品種で耐寒性・耐暑性に優れる。 主に河川の護岸法面での張芝施工が多い。 また、種子吹付工でも施工を行っているが、雑草に被圧されることが多い。
特性比較	葉色	濃い緑	緑	緑	緑
	葉ざわり	柔らかい	硬	やや硬	硬
	キメ	細かい	粗	細かい	粗
	初期成育	普通	速	遅	遅
	耐暑性	強	強	強	強
	耐旱性	強	弱	強	強
	耐寒性	普通	弱	普通	強
	耐踏圧性	普通	強	普通	強
祖放時の最高草丈		低い	高	低い	やや高
管理比較	草丈による刈込	少ない	普通	少い	普通
	雑草による刈込	普通	普通	多い	多い
	灌水・施肥回数	少ない	やや多い	普通	普通
	長期的メンテナンス	易	普通	普通	普通
管理特性		施工前後、雑草除去を行い定着すれば、アレロパシー効果で雑草を抑えローメンテが可能となる。	地表部を被覆することにより雑草抑制効果が生まれるが、草丈が高くなる為、刈込頻度が多くなる可能性がある。	草丈は低く景観は優れるが、雑草の抵抗力が弱い為、雑草が繁茂する可能性がある。	地表部を被覆することにより雑草抑制効果が生まれるが、草丈が高くなる為、刈込頻度が多くなる可能性がある。水分要求度は少ないが、肥料要求度も高いことから施肥が必要になってくる。